

金城学院大学 シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	05730001
授業科目名(Course name)	近現代文化講義 (1)		
担当者(Instructors)	毛利 優花		
開設学部学科(Department)	文学部 日本語日本文化学科	科目分類番号(Course classification number)	212
開講クラス(Class)	(文) 2	開講形態 (Course format)	講義
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	前期 月曜 4限	担当形態 (Instructor format)	単独
実験実習費 (円) (Experiment/training fee (yen))		履修者数上限 (名) (Maximum number of students)	120

他学部他学科生履修不可(No other undergraduate departments students can study)

■授業の概要(Course outline)

近現代文学のなかでもいわゆる純文学のみならず、児童文学、ライトノベルなどを含めたさまざまな「少女」を描く作品をとりあげ、「少女」にまつわる表象について読み解いていく。
作家の性別、年齢、発表媒体や時代背景の異なる作品について「少女」の眼をとおして文学を読み解くことで、社会の中心たる男性の視点とは異なる立場から文学と社会的なことがらとの関わりを考察する。

■到達目標(Course goals)

日本近代を象徴する社会的言説についての知識を獲得する。

■履修上の留意点(Important points)

■学位授与方針 (Diploma policy)

1. 知識・理解

日本語および日本文化を理解するとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。 ◎

2. 汎用的技能

日本語運用能力の基礎や種々の表現方法を修得し、多様な人々とコミュニケーションをとることができる。 ○

日本語の特性や日本文化の諸問題についての情報を適正に収集し、さまざまな研究理論を用いて分析し考察することができる。 ◎

■授業計画(Lesson plan)

1. プロローグ／少女という表象と文学
2. 少女が描く〈少女〉① 吉屋信子『花物語』
3. 男性が描いた〈少女〉 中原淳一、竹久夢二『花物語』
4. 客体としての少女① 太宰治『女生徒』
5. 客体としての少女② 田山花袋『少女病』(1) 窃視する男
6. 客体としての少女③ 田山花袋『少女病』(2) 見られる少女たち
7. 客体としての少女④ 川端康成『眠れる美女』
8. まとめ・テスト
9. 少女向け小説の変遷 コバルトからライトノベルへ

10. 少女が描く〈少女〉② 氷室冴子『クララ白書』
11. 少女が描く〈少年〉 長野まゆみ『少年アリス』
12. アメリカ文学における少女 ルイザ・メイ・オルコット『若草物語』
13. 抑圧と少女の自殺① 『ヘビトンボの季節に自殺した五人姉妹』
14. 抑圧と少女の自殺② 映画「ヴァージンスーサイズ」
15. まとめ・テスト

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)

授業までに扱う作品を読んで理解しておくこと。

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題1：第8週・第15週にテストで内容理解の確認をする。

課題2：期末にレポート提出

毎回responの提出で出席とする。コメントのないものは出席としない場合がある。

翌週、コメントに対する回答を口頭で行う。

■テキスト・参考書(Textbooks/references)

講義にそって、本文、関連資料などプリントを配布する。

■評価方法(Evaluation method)

授業参加態度 20%

テスト 20%

レポート 60%

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)

授業後またはメールで対応